



KUMAMOTO GREEN

The Weekly Bulletin

Rotary-Club



世界へのプレゼントになろう

2015-2016年度
テーマ

国際ロータリー 「世界へのプレゼントになろう」

地区方針 「ロータリーの活動を通して、新たな気づきを、そして自己の成長へつなげよう」

熊本グリーンR.C. 「ロータリーの可能性に挑む」

R.I. 会長 K.R. “ラビ”ラビンドラン

R.I. 2720 地区 ガバナー 野田三郎

熊本グリーンR.C. 会長 大友利行

■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：大友 利行 ■幹事：荒木 一之 ■会報担当：長野 義文
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー 第2720地区 **熊本グリーンロータリークラブ週報**

【2016年2月8日】

第1205回
2015-2016年度 第25回

【例会】

1. 開会・点鐘 18:30
2. 食事と交歓



「君が代」
「奉仕の理想」 (ロータリーソング)

来訪者紹介 (大友 利行 会長)

熊本第3グループガバナー補佐
倉田榮喜 氏

友情の握手

会長スピーチ (大友 利行 会長)

今年は申年ですが、三猿像を御存知でしょうか、三匹の猿がそれぞれ両手で目と耳と口をおさえている像のことです。木葉猿にも見かけます。「見ざる、聞かざる、言わざる」これは何を意味しているのでしょうか。

これは庚申信仰から来たものです。庚申信仰とは中国では道教から起ったものですが、仏教とも交わり、日本では神道とも交って来た民間信仰です。

中国の道教では庚申(かえのさる)の夜、人間の体内に住む三戸虫が、夜寝ている間に人体を抜け出して天に昇り天帝にその人の60日間に犯した罪を報告するとの事、それが重なれば人は早死してまつられることになる。しかし

しかし庚申の日(60日間に1日)ごとに徹夜すれば三戸虫が天に昇り天帝に報告出来ない。だから庚申の夜に身をつつしんで夜明かしすれば早死を免れて長生きすることが出来る。これが中国の道教の考えです、仏教とも結びつき僧侶によって守庚申会が各地で行われるようになりました。江戸時代初期以降、仏教化された庚申信仰が盛況しました。そこで山崎闇斎は日本人は日本人としての庚申信仰を行うべきだとして、猿田彦神を本尊とする神道式庚申信仰を主張しました。それが庚申祭です。道教では身を慎んで(目と耳と口をつつしんで)静かに夜明かしせよとの事ですが、日本では眠気さましや時間つぶしの手段として、双六、管弦、歌合わせなどで遊んだり、酒を飲んで賑やかに徹夜したそうです。これがあの三猿像の意味するところですよ。

幹事報告 (荒木 一之 幹事)

■ 報告事項(その他のロータリー関係)

①「宇土RC創立30周年記念式典・祝賀会」

日時 平成28年5月7日(土)

式典 14:00～15:10:

講演 15:20～16:20(「地域遺産の掘り起こしと発信」高木恭二氏：宇土市民会館館長)

祝宴 16:40～18:40

場所 「ホテルニューオータニ熊本」

登録料 10,000円

卓話
予定

【2月】～「平和紛争予防・紛争解決月間」～

15日 会員増強クラブフォーラム

(河島一夫会員増強委員長の基調卓話後、全会員でフォーラム)

22日 「世界で活躍するロータリアン」～世界で活躍するロータリー紹介(DVD鑑賞)～

29日 「日本で作られた世界地図」河島一夫 会員卓話

グリーン・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及ばません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

その他のお知らせ

①「抜粋のつづり その七十五」の寄贈のお知らせ

本日、例会場受付にて配布致しました「抜粋のつづり」はクマヒラ金庫の創業者より親子3代にわたり、全国のロータリアンはもとより、116ヶ国の日本大使館や各種団体、企業に毎年5万部ほどを無料配布されています。ここ1年間の新聞、雑誌、書籍などから、心に響くエッセイ、コラムを36編を抜粋しまとめておられます。朝の朝礼や挨拶等に引用されても良いかと思われまますのでご一読下さい。

■ 例会変更

<変更>

【熊本東RC】

2月16日(火)の例会は、台湾からの交換学生送別会のため、同日11*00より熊本空港ビル2F「団体待合室」にて行います。

【熊本平成RC】

2月17日(水)の例会は、新入会員歓迎会の為、2月20日(土)18:30より食彩航路「独歩」にて行います。

【熊本西RC】

3月1日(火)の例会は、夜の例会のため、同日18:30より行います。場所は未定です。

<取止め>

下記の例会は定款第6条第1節に基づき、例会を取りやめます。

【熊本西陵RC】 2月29日(月)

委員会報告

①第3回 ほろ二ガ会のご案内

報告者：河島 一夫会員

「陳建一・陳健太郎の『至福の晩餐』」

日時：平成28年3月13日(日) 受付17:30

0～ 食事18:00～

場所：ホテルキャッスル

会費：ほろ二ガ会員 5,000円

ビジター会員 15,000円

②今年の野菜の植付けについて

報告者：農業委員会 松村 秀逸会員

今、玉ネギを植えていているが、今年の春は何か植えてけるか？中島三千代会員と相談して施設の方と一緒に活動出来る様に検討していく予定。

③2月卓話スケジュール紹介

報告者：仙波洋八プログラム委員長

2月 卓話スケジュール
～「平和紛争予防・紛争解決月間」～

★2/23 はロータリー創立記念日★

1日 「大人になって伝えたい絵本の魅力」
元熊本グリーンローターアクト 吉田美樹 氏

8日 第4回クラブ協議会
～今年度前半の委員会活動報告と後期実施計画～

15日 会員増強クラブフォーラム
(河島一夫会員増強委員長の基調卓話後、全会員でフォーラム)

22日 「世界で活躍するロータリアン」
～世界で活躍するロータリー紹介(DVD鑑賞)～

29日 「日本で作られた世界地図」
河島一夫 会員卓話

出席報告 (石浦 順一 会員)

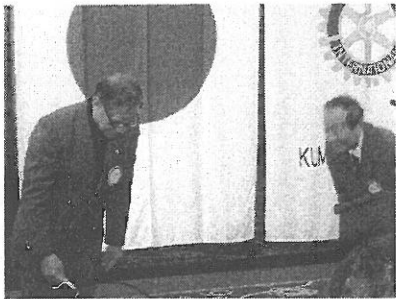
	会員総数	22名	出席率
2月8日	出席免除会員数	1名	71.43%
	計算上会員数	21名	
	出席会員数	15名	
1月25日	前回の出席会員数	10名	57.14%
	メイクアップ数	2名	
	修正出席会員数	12名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
2/3 グリーンローターアクト 中島(三)会員			
2/8 ワールド大阪Eクラブ 福島 君			



その他の報告

新会員推薦者バッジの贈呈

報告者：大友利行会長より上田観一会員へ国際ロータリーより新会員を推薦した方に推薦者バッジが届きました。これは国際ロータリーより半期に1度の割合で、その間に推薦を行った方あてに届きます。本日は、福島和見会員の推薦者の上田観一会員に贈呈致します。



スマイル

(松村 秀逸クラブ管理運営委員)
(スマイル担当長)

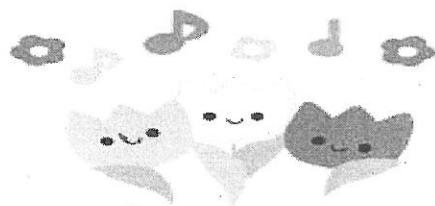
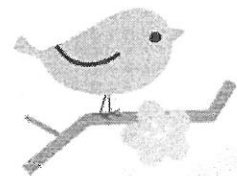
- 倉田 榮喜 君(熊本北RC)
- 「ガバナー補佐としてクラブ協議会に参加させて頂きました。寒さに負けず頑張っておられる皆様にスマイルします。」
- 大友 利行 君、荒木 一之 君
- 「第4回クラブ協議会の開催と倉田ガバナー補佐のご来訪を感謝してスマイルします。」
- 福島 和見 君
- 「倉田ガバナー補佐のご来訪心より歓迎申し上げます。受付のお花もチューリップがお出迎えをしてくれ、寒いながらも春を感じずにはいられません。倉田ガバナー補佐の笑顔とチューリップの香りにスマイルさせていただきます!」
- 田中 純司 君
- 「倉田ガバナー補佐をお迎えしてのクラブ協議会ご苦労様です。会長、幹事をはじめ各委員の皆様お疲れ様です。」
- 松村 秀逸 君、河野 景治 君、十時義七郎 君、長野 義文 君、栗山 義則 君
- ①「本日はクラブ協議会の開催に倉田ガバナー補佐のご出席を頂きありがとうございます。感謝してスマイル致します。」
- ②「久しぶりの出席です。欠席が多く大変申し訳ありません。又、誕生祝いを頂きありがとうございます。ありがとうございました。」(松村)

3. 例会プログラム

「第4回クラブ協議会」



4. 閉会・点鐘



平和への道をさぐる ロータリー世界平和会議

1月15日と16日、カリフォルニア州で「ロータリー世界平和会議」(Rotary World Peace Conference)が開かれ、平和構築をめざす人や専門家が世界中から集まりました。会場となったサンバーナーディーノ郡の町オンタリオは、約1カ月前、死者14名と負傷者20名以上の惨事となった銃乱射テロ事件の現場からそう遠くありません。期せずして、この事件が平和会議の重要性をさらに強める結果となりました。

サンバーナーディーノ郡行政官を務め、フォンタナ・ロータリークラブ(カリフォルニア州)の会員であるジャンス・ルサーフォードさんは、開会本会議で次のように述べました。「今までにも増して、私たちが一体となって平和を築き、人びとの苦しみを和らげる必要があります。(中略)このことを世界中の地域社会に伝えようとする皆さんの努力に心から感謝します」。この挨拶の後、ルサーフォードさんは1月15日を「サンバーナーディーノ郡の平和の日」とすることを宣言しました。

ロータリー会長主催会議の1回目として開かれたこの会議には、平和、教育、ビジネス、法律、医療など各分野のリーダー150人以上を含む計1,500人以上が出席。「教育を通じた平和の実現」「人身売買の撲滅」「紛争をなくすためにメディアが果たす役割」など、実践的な解決策をさぐる100以上の分科会とワークショップが行われました。

この会議について、K.R.ラビンドラン国際ロータリー会長は「ロータリー会員がいかに関与できるかを示す例」と話します。「政府や国連が平和を実現してくれるのを待ってはいけません。平和は誰かが運んでくれるものだとは期待してはならないのです。(中略)平和とは、社会の土台となる草の根レベルで築かなければなりません。この会議から学べる貴重な情報は、今後の生活の中で、地元地域で、そして世界で、争いを防いでいくために役立つものです」

さらに、人道的支援に熱心な女優シャロン・ストーンさんも講演し、思いやりと相互理解を育むために寛容な心をもつよう出席者に呼びかけました。「今日の世界では、テクノロジーの発達のおかげで他国の文化や信仰について学びやすくなりました」とストーンさん。「敵対する者を取りまく事情を理解できれば、対応策もより明らかになるものです」と述べ、互いの違いを学び、受け入れあうことの重要性を訴えました。

ギャングに走った少年たちを支援しているロサンゼルス の団体、Homeboy Industriesの代表、グレッグ・ボイル牧師も、少しずつ世界を変えているロータリーの活動を評価しました。「ロータリーは、人と人とを分け隔てている壁を取り除こうと決意しました」とボイス牧師。「皆さん(ロータリー会員)は、社会の底辺にいる人を救い出すことによって、底辺そのものをなくすことの必要性を理解しています。皆さんは、貧しい人、社会的な弱者、尊厳を侵された人たちの側に立って活動しています」

平和と紛争解決の研究や実地研修を通じて平和構築に貢献できる人材を育てる「ロータリー平和フェローシップ」にもスポットライトが当てられました。戦争、暴力、不寛容に対する、いわばロータリー最大の武器となるこのプログラム。今回の会議にも数十人のロータリー平和フェロー(プログラム卒業生)が出席し、ロータリー平和センターやロータリークラブが平和にどう貢献できるかを語りました。中でも、最近クイーンズランド大学(オーストラリア)を卒業し、現在はアフリカと中東の団体にアドバイスをする米国のコンサルティング会社で働くクリストファー・ザンバカリさんは、今回の会議について「数多く行われている平和構築活動について、多くの人に知ってもらおうチャンス」と話します。「平和については、母国側の視点だけで捉えている人が少なくありません。(中略)今回のような会議は、平和実現に向けた多くの可能性を開くものです」

そのほかの講演者は、米国平和部隊のキャリー・ヘスラー・ラデレット長官、レバノン特別法廷のダニエル・ンセレコ判事、国連財団シニアアドバイザーであるジリアン・ソルンセン氏、経済平和研究所の創設者で会長であるスティーブ・キレリア氏、ダン・ラングレン元米国下院議員、カーターセンターのCEOで元在バングラデシュ米国大使であるメアリー・アン・ピーターズ氏など。



1月15日、米国カリフォルニア州で開かれたロータリー世界平和会議で「ピース」サインをする女優シャロン・ストーンさん。ストーンさんは人道的活動に熱心に取り組んでいます。

写真提供 Rotary International/Ryan Hyland